

事業所名

チャイルドサポートみやこI

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念		全社員及びその家族の物心両面の幸せを追求する。謙虚にしておごらず人格を高め地域社会に貢献する。							
支援方針		ビザライに関わるすべての人の「笑顔」を増やす。							
営業時間		9時	0分	から	17時0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	安心安全に医療的ケアを実施し、体調を崩すことなく施設や学校に通えるように支援します。 病院、訪問看護・介護・相談等の関係機関と連携して、食事、活動、身体機能のリハビリ等の日々のケアや生活に必要なサービスを提供します。							
	運動・感覚	ハンモックやバランスボールを使い、大きく身体を動かす事で感覚統合の支援や運動体験を増やす機会を提供します。普段、特定の人以外から触られる経験が少なく触れられる事に抵抗が見られる為、ふれあいリラックス体操や手遊び歌等を通し、感覚統合支援や自身のボディイメージを高める時間を提供します。							
	認知・行動	おもちゃや絵本、音楽に触れることで本児の好きな遊びや道具を見つけ、楽しく遊ぶ時間を提供します。 スイッチ遊びを通して、スイッチと玩具の因果関係に興味を持ち自身で出来る事を増やします。また、様々なスイッチを使用する事で遊びのジャンルが増え、自発的に表現できるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	気持ちを言語化出来ない児童の気持ちを読み取る為に、選択肢を使った会話を行い、ハンドサインや表情、身体の動きで児童の気持ちに寄り添います。また、家族以外の他者に触れられる機会を提供する事で、非言語コミュニケーションを図る機会を提供します。							
	人間関係 社会性	地域の人や他事業所の職員、他事業所の児童と交流することで、利用児のことを知ってもらう機会を提供し、社会との繋がりを作る事で社会性を育みます。							
家族支援		両親の就労のため、利用時間延長サービスを提供。 また、保護者の介護負担軽減の為、必要に応じて受診の同行を行なう。 送迎の希望に関しては、事業所の所有する車両により利用児の自宅と事業所との間、又は学校から事業所までの送迎を行っています。			移行支援		関係機関と連携し、状態に適した医療的ケアや地域の教育が受けられるように訪問授業を行なう時の環境設定、学校担任との情報共有を行う。		
地域支援・地域連携		屋外活動や、イベントに参加する事で、他業種のボランティアの方々や地域の方と関わりを持つ事が出来ている。			職員の質の向上		外部研修への参加を通して知識を増やし、支援の質の向上を図っている。児童の支援に必要な他事業所との連携を密に行なう事で、包括的な支援を行います		
主な行事等		毎月誕生日会、七夕集会、夏祭り、交通安全、みやくるるフェスティバル、ハロウィン、家族参加型イベント、クリスマス会、節分等、海イベント							